

2015年 評価指標項目（日本透析医会の自主機能評価指標に基づく）

I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
① 施設の種別	有床診療所
② (有床の場合)病床数	17床
③ ペーシェントステーション台数(透析ベッド数)	65台
2. 施設の機能	
① 準夜透析の可否(21時以降終了)	可
② (可の場合)透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	22時30分
③ 早朝透析の可否(8時以前開始)	不可
④ (可の場合)透析の開始時間	
⑤ 長時間透析の可否(5時間以上)	可
⑥ オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	不可
⑦ 在宅血液透析の可否	可
⑧ オフラインHDFの可否	可
⑨ オンラインHDFの可否	可
⑩ CAPDの可否	不可
⑪ シェント手術の可否	可
⑫ PTAの可否	可
⑬ 障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
3. 医療スタッフの状況(2015年6月時点)	
① 透析に関わる医師数	常勤医師:2人 非常勤医師:5人
② 透析医学会会員の医師数	5人
③ 透析専門医の人数	4人
④ 透析指導医の人数	1人
⑤ 透析技術認定士の人数	8人
⑥ 透析看護認定看護師の人数	0人
⑦ 透析療法指導看護師の人数	1人
⑧ 血液浄化専門臨床工学技士の人数	0人
⑨ 管理栄養士の有無	いる(常勤)
4. 組織体制の状況	
① 医療安全委員会の有無(災害、感染対策を含む)	ある
② 事故報告体制の有無	ある
II. 患者の状況(2015年6月時点)	
① 外来HD患者数	159人(内1名在宅透析)
② 外来PD患者数	0人
III. 治療指標(外来HD患者対象)	
① 腎性貧血管理(Hb 10.0g/dl以上の比率) (2015年5月時点)	83.7%
② P管理(P 6.0mg/dl以下の比率) (2015年5月時点)	81.3%
③ PTH管理(iPTH 240pg/ml以下、あるいはwhole PTH150pg/ml以下の比率) (2015年5月時点)	80.7%
④ 透析時間(4時間以上の患者の比率) (2015年6月時点)	90.3%
⑤ 透析時間(5時間以上の患者の比率) (2015年6月時点)	14.1%
⑥ 透析量(Kt/V 1.2以上の比率) (2014年12月時点)	88.3%

*備考 日本透析医学会によるわが国の慢性透析療法の現況2012によると、Hb 10.0g/dl以上の比率は全国平均73%、P 6.0mg/dl以下の比率は全国平均75.8%でした